

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	釧路市家庭教育支援チーム URL: https://www.city.kushiro.lg.jp/kosodatekyouiku/kyouiku/1005654/1005618.html#group11
②活動拠点	釧路市教育委員会
③活動範囲	釧路市内全域
④組織体制	29 人 福祉・こども保健・教育行政職員、保健師、指導主事、家庭教育推進員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、社会福祉法人職員
⑤活動開始年度	平成25年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 釧路市教育委員会学校教育部学校指導課学校指導係 (TEL)0154-23-5189 (E-mail)gs-shido@city.kushiro.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☒ 保護者等への学びの場の提供 ☐ 保護者等への地域の居場所づくり ☒ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) { ☒自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐ その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☒ 乳幼児 ☒ 小学生(低学年) ☒ 小学生(中学年) ☒ 小学生(高学年) ☒ 中学生 ☐ 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【具体的な活動内容】 ○ユニバーサルの視点による家庭教育支援 ・家庭教育講座「ほわっと」の実施 家庭の生活や学習習慣、子どもとのかかわり方等について学びを深める機会として、各学校のPTA研修会や幼稚園の参観日等の機会を利用した、訪問型家庭教育講座「ほわっと」の実施 ・生活習慣啓発資料の作成・配付 「早寝・早起き・朝ごはん運動」、「くしろっ子共に育てる10か条」等、家庭における生活習慣定着を啓発するリーフレット等を作成し、家庭教育講座新入学保護者説明会の機会を利用して配布 ○ターゲット的視点による家庭教育支援 ・教育相談電話の開設 学校生活や家庭教育に関する悩みについて、指導主事による電話相談対応 ・訪問型アウトリーチによる直接支援 スクールソーシャルワーカーを中心とした、社会福祉法人との連携による、不登校等教育的課題を抱える家庭に対しての訪問型アウトリーチの手法による働きかけ(家庭訪問、子どもの通所支援、午前中を活用した活動支援、保護者への相談支援)
④活動の成果 (活動実績がある場合)	・子どもの望ましい生活習慣の定着に関わる「早寝・早起き・朝ごはん」の普及啓発が、家庭教育に対して関心の低い家庭に対しても徐々に進んでいるほか、単に早寝・早起きをするのみならず、その必要性や効果についても周知することができている。 ・家庭教育講座の参加者は、主に母親が多数であるが、受講アンケートでは「講座に参加して勉強になった」「参加してよかった」「また参加したい」「たくさんの人に参加してほしい」等の好意的な意見が多く、参加者の家庭教育に対する意識を高めることができている。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☒ 文部科学省補助事業(事業名:地域における家庭教育支援基盤構築基盤) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☐ 地方公共団体単独事業として実施 ☐ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☐ その他の支援により活動を実施 ()